



のかるまい 議会だより

No. 197

平成 26 年 4 月 24 日

新たな友達とともに統合中学校がスタート

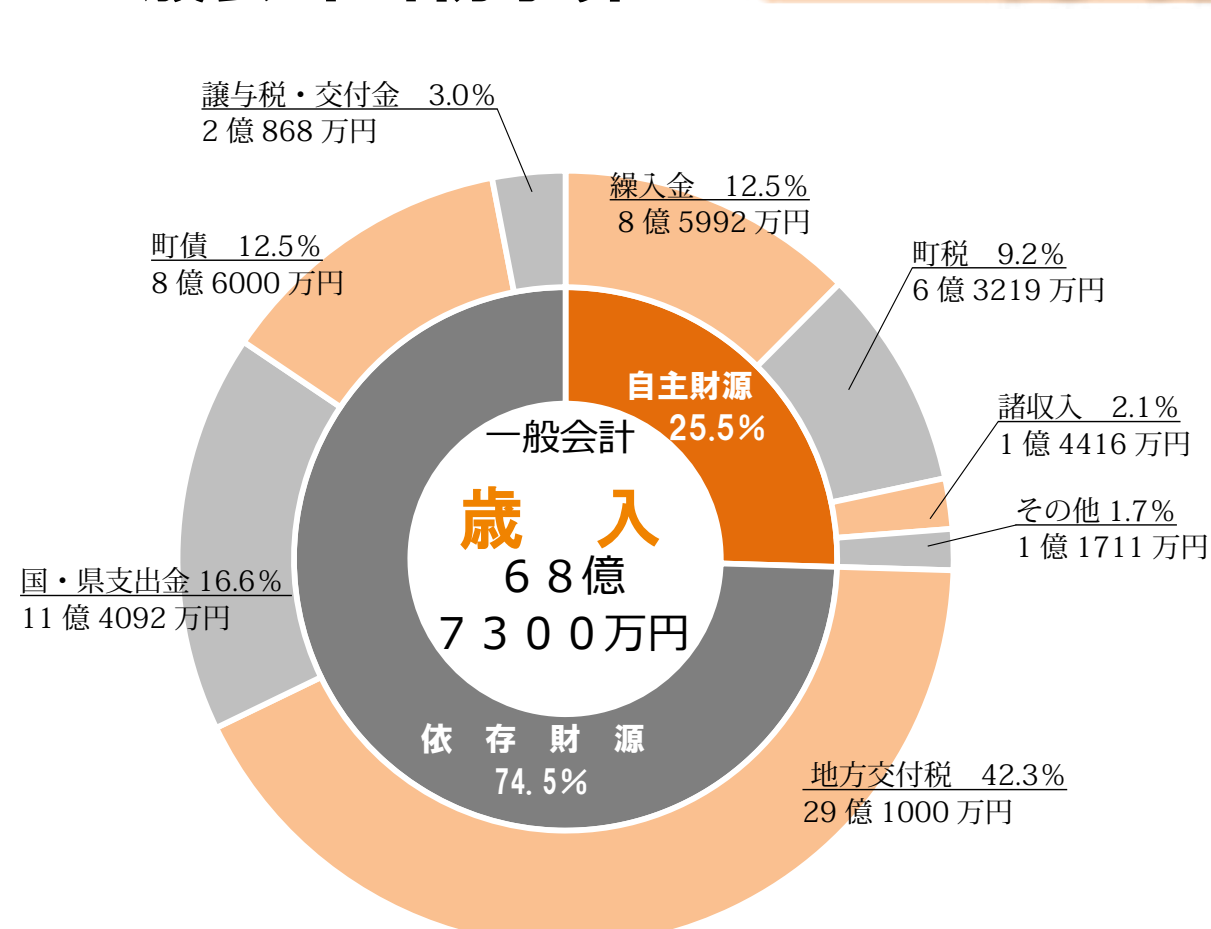
(4月6日 新生軽米中学校門出式・入学式)

平成 26 年度一般会計当初予算は	
前年度比 2.9%の増	… 2
一般質問に 9 人の議員が質問	… 6
未評価等調査特別委員会での意見	… 16

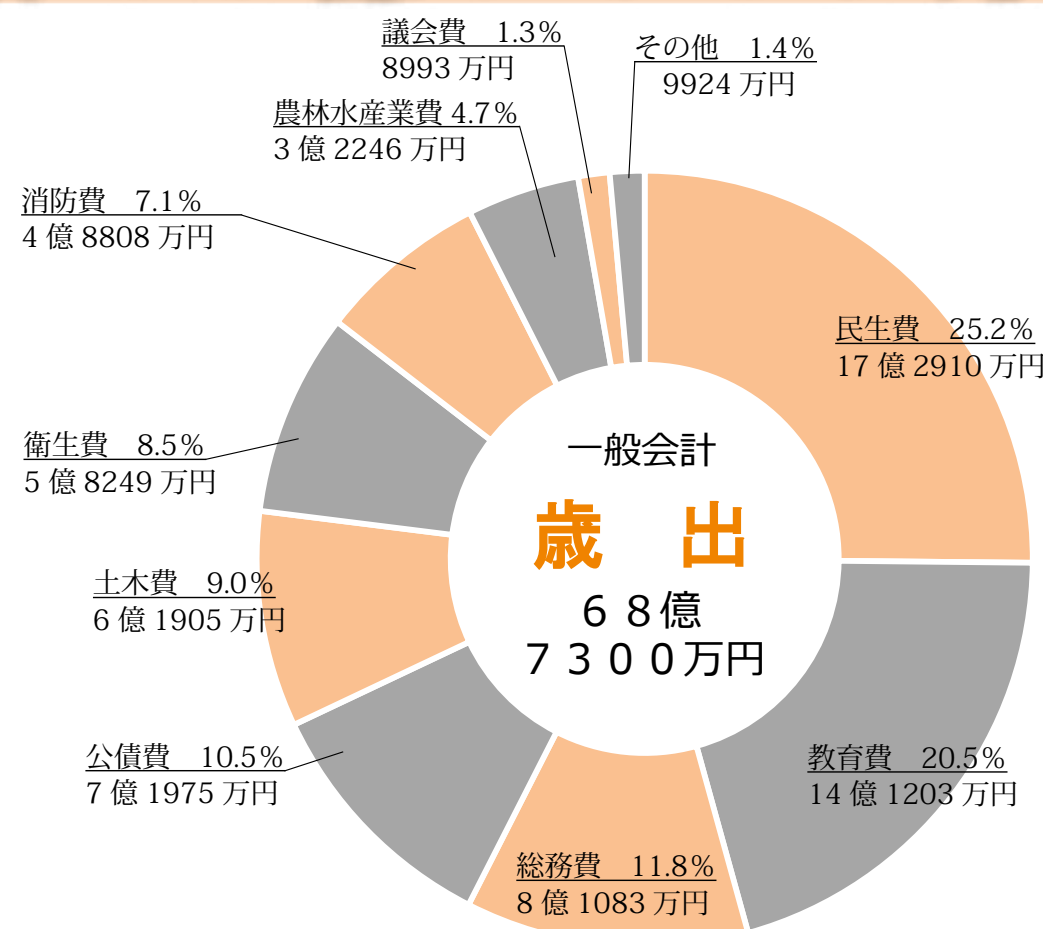
前年度より2.9%増額

平成26年度
一般会計当初予算

総額68億7300万円



※グラフ内の金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てています。
※「%」は全体に占める割合を表しています。



第26回（3月）定例会は、2月27日から3月11日までの13日間の会期で開かれました。

一般質問には、9人の議員が登壇し町政執行をたしました。（7～15ページに掲載）

新年度当初予算案6件、条例改正案3件などの13議案が提案され、人事案件は即決で可決。そのほかの12議案は、予算等審査特別委員会を設置し審査しました。

平成26年度の一般会計予算案と国民健康保険特別会計予算案に反対があり、討論がおこなわれました。（5ページに掲載）

特別委員会での否決などがありましたが、本会議での採決の結果、全議案を原案のとおり可決しました。

晴山保育園建設、球場改修などが増

平成26年度の一般会計当初予算は68億7300万円と、前年度比で1億9200万円（2.9%）の増額となりました。

歳出では、町職員の減員などにより人件費が373万円（前年度比0.3%）減額した一方、二戸消防署軽米分署の改築などにより消防費が1億6202万円（同49.7%）の増額、晴山地区常設保育園の新設などにより民生費が3億5732万円（同26.0%）の増額となっています。

このほかの新規事業としては、町内小中学校への「太陽光発電設備整備事業」、いわて国体に向けた「ハートフル球場の大規模改修」、町内牧草の除染を行う「いわて型牧草地再生対策事業」などが計画されています。

かるまい議会だより

目次（No.197）

- 4 可決議案
- 5 討論
- 6 一般質問
 - 7 松浦満雄議員
 - 8 中村光夫議員
 - 9 前田泰穂議員
 - 10 茶屋隆議員
 - 11 細谷地多門議員
 - 12 泉山優議員
 - 13 大村税議員
 - 14 山本幸男議員
 - 15 古舘機智男議員
- 16 未評価等調査特別委員会・臨時会
- 17 町議会の動き
- 18 未来に残したい
軽米の風景

表紙の写真



笹渡、小軽米、晴山の各中学校と統合した新生軽米中学校の門出式・入学式が4月6日に行われました。

仲間とともに新たな歴史を刻んでいきます。

原発事故の損害賠償

あつせんを申し立て

約の一部を変更しました。

専決処分

平成25年度一般会計
補正予算(第9号)で、
除雪費用3200万円
を増額補正しました。

全員賛成で可決

人事案件

固定資産評価審査委
員に小笠原久志さん
(向川原)を選任する
ことに同意しました。

全員賛成で可決

条例の改正

国の法律改正と消費
税の増税に伴い、軽米
町道路占用料徴収条例
を一部改正しました。

全員賛成で可決

その他

岩手中部広域水道企
業団が事業統合して岩
手中部水道企業団とな
ることに伴い、岩手県
市町村総合事務組合を
組織する地方公共団体
の数の増減及び岩手県
市町村総合事務組合規

請願陳情

継続審査

かるまいテレビに特
別委員会の放映につい
ての請願(請願者・大
清水久一外37名)

一般会計予算等審査特別委員会

館坂久人 委員長報告

一般会計予算案は否決

本委員会には12議
案が付託された。当
局の出席のもと、提
案理由の説明を求め
た上で審査がなされ
た。

中でも、平成26年
度軽米町一般会計予
算案について質疑が
集中し、予算書の委
託料のうち随意契約
分の金額は明記でき
るはずであるという
ような意見もあつた。
また、軽米高等学
校へのバス通学助
成、自殺予防対策並
びにうつ病対策、空
き家対策、鶏糞ボイ
ラー発電の公害防止
協定、常設晴山保育
園の保育料の緩和措

置、火葬場の整備等
についての質疑が
あつた。

平成26年度軽米町
国民健康保険特別会
計予算案では、短期
保険証並びに資格証
明書の発行の状況な
どの質疑があり、各
委員から終始活発な
議論がなされた。

一部の議案に反対
があり、平成26年度
一般会計予算案は賛
成少数により否決、
平成26年度国民健康
保険特別会計予算案
は賛成多数により可
決した。

その他の10議案
は、全会一致で可決
した。

最終本会議で賛否のあった議題表決 (賛成：○、反対：×、欠席：欠)

議 案 名	前田泰穂	茶屋 隆	大村 税	中村光夫	上岩紀男	松浦満雄	本田秀一	細谷地多門	泉山 優	川原木賢一	古館機智男	山本幸男	館坂久人	賛成	反対	結果
平成26年度一般会計予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	×	○	10	2	可決
平成26年度国保特別会計予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	×	○	10	2	可決

平成26年度当初予算の内訳 (単位：千円)

会計別		当初予算	前年度当初予算	前年度比較	伸び率
一般会計		6,873,000	6,681,000	192,000	2.87%
特別会計	国民健康保険	1,383,000	1,363,000	20,000	1.47%
	後期高齢者	83,500	80,000	3,500	4.38%
	介護保険	74,400	72,900	1,500	2.06%
	下水道事業	114,000	161,400	△ 47,400	△ 29.37%
水道事業（支出）		844,491	921,843	△ 77,352	△ 8.39%
合計		9,372,391	9,280,143	92,248	0.99%

3月11日の最終本会議冒頭に 町長から発言がありました

本定例会においては
議員各位から町づくり
施策について種々のご
指導、ご提言を賜り、
特にも軽米高等学校へ
の支援や高齢者見守り
配食サービス事業、(株)
軽米町産業開発への委
託事業等は、事業内容
を検証しながら効率
的、効果的な事業とな
るよう、途中経過を議
会に適時報告しながら
取り組んでいきたい。

また、その他のご意
見も参考として今後の
町政運営に取り組んで
いきたい。

ついては、改めて議
員各位のご理解とご協
力を賜り、全議案とも
原案の通り議決いただ
くようお願いしたい。

古館 機智男 議員

論・平成26年度一般会計予算案
討・平成26年度国民健康保険特別会計予算案

に
反対

町長の施政方針演述
は、事務当局が作った
作文を読み上げるだけ
に感じた。国の経済政
策、TPP問題、消費
税増税、集団的自衛権
の改憲、医療・介護制
度の改悪といった自治
体を取り巻く環境をす
べて無批判に受け入れ
るという姿勢しか読み
取れなかった。住民の
福祉、暮らしや農業を
守っていくという基本
姿勢がないのではない
か。議会で論議を深め
るために、委託料の額
などを公表できるもの
は議案書に載せること
をこれまで何度要求し
ても行われなかった。

また、町長が社長で
ある(株)軽米町産業開発
に指定管理を委託する
という兼業の禁止に違
反するような状況はこ
れまで何度も議会で取
り上げてきたが、何ら
対応されていない。

また、当町での国民
健康保険税の滞納者は
12%以上に達してお
り、さらに毎年短期保
険証の発行数は増え続
け、25年度には180
名にもなっている。軽
米町の短期保険証は期
間が2か月から3か月
へと延長されたが、全
国の平均的な有効期限
である6か月には届い
ていない。これは町民
いじめの施策としか言
えない。

松浦満雄議員



質問 ①全国的にゆるキャラが多数作製され、地域の宣伝や経済活性化に貢献している。全国の成功例と比べ、当町のイメージキャラクターであるヒエポンは不評の声が聞かれる。また、かるんはあまり活用されていないと感じ、インパクトに欠けると感じる。

町長 ①ヒエポンは平成8年に町ホームページの案内役として誕生

した。15年には着ぐるみが完成し町内外のイベントやテレビに出演し、まちのPRに取り組んできた。また、18年にはゆるキャラグランプリ全国大会にも出場するなど、軽米町や雑穀を全国にアピールした。現在、老朽化した着ぐるみをリニューアル中である。

かるんは22年にアマランサスの花をイメージしたデザインが公募によって決定し、ヒエポんとともに町のPRに貢献してきた。

②新たなキャラクターの設置も重要とは考えるが、現時点ではヒエポンとかるんを活用

ゆるキャラ

問 新たなキャラクター作製しては
答 現行のものを活用していく

していききたい。成功し

ているゆるキャラは、いずれもイベントやメディアへの露出に力を入れ、知名度の向上を図っていることから、町内外のイベントに積極的に参加させ、他団体への貸し出しも検討しながら、PRに努めていく。



かるん（左）とリニューアルされたヒエポン

その他の質問

問 新年度予算の重点項目は

答 児童生徒の学力向上や再生可能エネルギー施設の導入、子育て環境整備や新規就農支援対策、中心商店街活性化などに取り組む

一般質問

町政を問う

一般質問とは、定例会において、議員が町の施策の状況や方針等について、報告や説明を求めたり質問することで政治姿勢を明らかにするものです。

軽米町では、充実した能率的な議会運営を行うため、あらかじめ質問内容を通告しておくことになっています。

質問時間の制限はありませんが、1つの質問項目につき再質問は2回までとなっています。

3月定例会では9人の議員が質問しました

- 松浦満雄議員・町のイメージキャラクターについて
- 中村光夫議員・畜産振興について
- 前田泰穂議員・告知放送の有効利用について
- 茶屋 隆議員・インフラ・ライフライン等について
- 細谷地多門議員・農政対応について
- 泉山 優議員・軽米ブランド認定について
- 大村 税議員・産業廃棄物最終処分場の経過と現状について
- 山本幸男議員・安心、安全のまちづくりについて
- 古舘機智男議員・軽米町の地域資源を生かして、町の活性化に役立つ再生可能エネルギー施策について

※紙面の都合上、質問・答弁の内容を要約して掲載しています。

中村 光夫 議員



質問 ①町の家畜貸付

制度は、基金を原資として購入した子牛を貸付し、5年以内にその牛から生まれた子牛を返納した場合に、貸し付けていた牛を譲渡する仕組みである。

返納された子牛も再度貸付されるので、最初に購入した子牛は2頭にも3頭にもなる制度と思うが、全体の頭数は増加していない理由。

②基金残高が減少している理由は、
③期間を過ぎても返納されていないものがあ
るようだが、回収対策

産業振興課長 ①飼養農家の高齢化に加え、飼料等の高騰、子牛価格の低迷などにより、飼養農家が大幅に減少したためと思われる。ただし、1戸当たりの平均飼養頭数は平成10年度に比べ約2倍となっており、制度の目的にはかなっていると思っている。

②貸付時の価格と返納された牛の価格差によ

問 家畜貸付基金残高減少の理由は 答 市場価格低迷 現在は回復傾向

畜産振興

る。
③文書で返納のお願いをし、少しずつではあるが残額は減少している。

町長 ④全体の飼養頭数や戸数は減少しているものの、1戸当たりの飼養頭数は増加している。また、近年は当町産の子牛価格が平均価格を上回ってきており、生産者の規模拡大や市場価格の向上に役立っていると考えている。

基金は減少しているが、今後も継続し一層の畜産振興を図る。

再質問 ①この貸付事業を受ける際には増頭計画を立てる必要があり、返納する牛は雌雄のどちらでもいいという規定になっている。計画の達成率の低さ

や、雄牛で返納されることと頭数の増えない一因では。

家が新たな投資を避けたことも関係していると思っている。この制度では比較的増頭が進んでいると思っ

③返納されていない分は不良債権化しないよう対応いただきたい。

②25年度は子牛価格が上がっているため若干増額となっている。③連絡を密にして取り組みたい。

産業振興課長 ①頭数減少の大きな要因は、平成14年頃に野外への堆肥の野積みが禁止となつたため、小規模農

町長 ④これまでの経過を検証しながら必要に応じて改善したい。



町内での牧畜風景

告知放送 問 火災放送の告知端末放送は可能か 答 平成25年度にシステムを整備

質問 ①火事の際に屋外の防災無線で放送しているが、放送が重複して聞こえづらい。屋内で、告知端末から知らせてはどうか。また、火元を確認したい際にはどこに確認すればいいか。

した災害情報は町民に積極的に提供すべきであり、そのために告知端末をもっと活用すべきでは。

総務課長 ①二戸消防署軽米分署に設備はあり、火災時に告知端末からの放送も可能だが、火災時には分署は連絡員1人となり、現場等との連絡に忙殺さ

れている状況である。平成25年度において、防災無線と告知端末の両方で放送できるようシステムの改修を進めている。

火災の火元については、個人情報保護の観点から町、消防署ともに地区名のみで放送している。町では火元が誰の家かということは答えできないし、分署でも同様の取り扱いと思われる。

②注意報や警報の発表状況をお知らせすることが考えられるが、深夜に発表された場合などの放送時間や提供される情報の内容などの検討が必要と思われる。

前田 泰穂 議員



その他の質問

問 長寿祝金の45年以上居住の要件は不要では

答 近隣市町村を参考に検討したい

問 「子育て環境日本一の町づくり」、新年度予算

にどのよう反映されているか

答 子育て支援、学力向上支援、施設建設などに約10億円を計上



大雪に見舞われた軽米町

町長 これまでの検証

をもとに告知端末を有効活用できるよう検討したい。



質問 ①12の特産品が軽米ブランドに認証された。今後、全国にPRし町の活性化に結び付けるとのことだが、具体的な方法は。

②今後は年に2度の認証委員会の特産品をブランドとして認証するようだが、具体的な取り組み内容は。

町長 ①軽米ブランドは「軽米産の食材、素材を原材料としていること」、「軽米にちなんだ物語、歴史、エピソードを有していること」、「安全で安心して消費でき、体と心においしい」

「いこと」の3つを定義としている。昨年の食フェスタにおいて、申請のあった12商品が第1回認証商品となった。

認証された商品には認証マークを表示し、取扱店では新たに作成したのぼり旗を立てPRに努める。また、イベントの際には特設コーナーを設けるほか、首都圏等での販売促進活動の経費も予算計上している。

問 軽米ブランド認証商品、今後のPR方法は

答 イベント時に特設コーナーを設置

特産品

からの申請された特産品を審査の上認証していくこととなる。

再質問 ①首都圏からの集客にどう取り組んでいくのか。

②認証商品のうち、物産館では買えない商品もある。冷凍食品化して販売しては。また、認証品の売り上げの動

向調査をしていくべきと思うがどうか。

ので、検討していきたい。認証商品を増やしていき、様々な機会をとらえて売り上げを伸ばしていく。

町長 ①現在はパルシステムとの交流を中心におこなっている。これを基軸にして交流事業を展開したい。

③今回の認証商品は雑穀を使ったものも多い。これらを中心に特産品開発や郷土食の研究を進め、販路拡大を目指す。



観光と物産キャンペーンでの軽米ブランド特設コーナー

産廃処分場

問 県で処分場候補地選定、町の対応は

答 当町も該当、今後の動向を注視

質問 ①早渡地区に建設が予定されている最終処分場には全町あげて反対表明をしているが、現在の状況は。

②地形や地質が不適切という理由のみで建設を阻止できるか。

③県で公共関係型産業廃棄物処分場候補地の第2次選定結果が公表された。町の認識は。

町長 ①昨年9月に県と事業者の事前協議が不調となった。事業者は再提出に向けた調査、設計を行っているようだが確認はとれていない。県へ情報開示請求をし、動向を注視していく。

②仮に安全が認められるような設計、計画であれば阻止は難しいと思われるが、関係市町村と連携し引き続き建設反対を訴えていく。

③町内にも該当箇所はあるが、県では調査段階であるため、進捗状況を注視していく。今後も数回にわたり絞り込みが行われると聞いており、現段階での対象地区の公表は地区住民の混乱を招くとの懸念もあることから、非開示とされている。なお、この県の計画と早渡地区の処分場建設計画の関連は無い。

④岩手北部広域環境組合は、解散の議決が一部市町村で否決されたため解散に至っていない。関係市町村が足並

みをそろえた形で解散を希望している。

今後の県北地区のごみ処理については、二戸、久慈両地域とも焼却施設が老朽化してお

り、施設の整備や補修が行われると思われる。二戸クリーンセンターについては、当面は通常のメンテナンスを行いながら使用していく。

う。県の計画に町が先頭に立って、近隣と連携し建設要望の手を上げてはどうか。

再質問 産業廃棄物処分場自体は必要とは思

町長 現在は調査中であり、整備候補地の絞り込み中であるため、判断はお待ちいただきたい。



産業廃棄物処分場についての勉強会・現地視察



質問 ① 昨年の台風で屋根の一部が崩壊した空き家があった。また、いつ壊れてもおかしくない状態の空き家も見られる。そういった空き家について、現状を把握しているか。また、対策は。

② 1人暮らし高齢者世帯への災害時の対策は。2月の大雪の際、除雪の要望はなかったか。

③ 今回の大雪では町民への情報提供がほとんどなかった。情報提供をすべきでは。

町長 ① 空き家管理条

例や景観形成条例などにより、倒壊のおそれのある空き家や管理が不適切な場合、指導や勧告、命令等により対応している自治体もあるが、撤去等を行政が行い所有者に費用を請求する行政代執行は、費用の回収が難しいことからほとんど行われていない。

県内では10程度の市町村が空き家登録制度を実施している。所有者に対しての指導は、行政が個人財産の管理に介入することになるため、法的にも取り扱いが難しいという問題

問 危険な状態の空き家が増加、対策は

答 調査し、近隣を参考に対策検討

安全安心

もある。

平成22年頃に実態調査を行った際には、居住可能な空き家が77%となっていた。今後は定期的に現状の把握に努め、近隣市町村等の動向を参考に対策を検討する。

② 昨年度から災害時要援護者システムを導入した。先月の大雪の際にも電話で安否確認を行ったほか、除雪の要望に対しては社会福祉協議会と連絡を取りながら対応した。

安全、安心な街づく

りのため、現在の事業を検証しながらさらに充実させていく。

総務課長 ③ 警報が深夜に発表されることも考えられるので、放送の仕方を検討しながら情報提供できるような体制をとっていききたい。

再質問 ① 危険な状態にある空き家もある。現状を把握の上、速やかな対応を。

② 近隣市町村では除雪していた人が亡くなっ

たというニュースがあった。マニュアルを作成し対応すべきでは。

③ 雪の捨て場所について、今回の場所を検証したうえで住民にあらかじめ周知しておくべきと思うがどうか。

町長 ① 現状を調査し対応したい。
② そのようなことの無いようにマニュアルを見直しながら万全を期していく。

③ 場所の選定も含め検討したい。

その他の質問

問 鶏糞発電、環境審議会の答申は

答 同型施設を視察後、大気汚染、燃料の品質確保等の条項を追加した公害防止協定を締結

問 メガソーラー事業、現在の計画地域は

答 小軽米、山内、高家地区の3地区4か所

エネルギー

問 地域資源を地元のために生かす施策を

答 事業者へ提案、要請していく

きと思うが。

質問 ① 町ではメガソーラーや鶏糞発電など、再生可能エネルギー関係の企業誘致を急速に進めている。メガソーラーは企業が町の広大な面積の自然資源を利用する一方で、地域への貢献は少ないのではないか。地元経済界と協力しながら、地域資源を地元のために活かす施策が必要で

② 鶏糞発電計画について、期待はしているが悪臭対策が必要と考える。同様の施設がある鹿児島県薩摩町に電話で確認したところ、悪臭の苦情が出されているとのことだった。町長は視察した結果、悪臭は無いと言っていたが、計画者だけでなく近隣住民の声も聞くべ

町長 メガソーラーは小軽米と山内、高家地区で、鶏糞バイオマス発電は晴山地区での建設計画が進んでいる。メガソーラーはエネルギー自給率の向上や温暖化対策など多くのメリットがあり、鶏糞バイオマス発電も未活用廃棄物を燃料とするため循環型社会の推進に、また農山村の資源を活用することによる農山村の活性化が見込まれる。

メガソーラー建設により、町内業者への工事発注、施設維持管理に関する雇用の創出が

その他の質問

問 医療・介護総合推進法案の町への影響は

答 要支援者向け介護事業は町の事業に、人的・財政的負担は増えると思われる

問 子ども・子育て支援新制度の27年度実施に向けた町の基本姿勢は

答 これまでの支援策を後退させず推進していく



臨時会で決まったこと

第27回臨時会

(3月24日議決)

補正予算

平成25年度予算を下
表のとおり補正しまし
た。

その他

平成28年3月31日をも
って岩手北部広域環
境組合から脱退するこ
とを決定しました。

(単位：千円)

	会計別	補正前	補正額	計	補正の主な内容
平成25年度予算	一般会計	7,676,296	16,899	7,693,195	町道舗装・修繕工事 など
	国民健康保険	1,398,969	△ 6,845	1,392,124	不用金額の減額
	後期高齢者医療	83,128	1,872	85,000	岩手県後期高齢者医療広域連合保険料負担金
	介護保険	72,747	△ 2,447	70,300	不用金額の減額
	下水道事業	114,965	38,707	153,672	下水道整備工事費 など

未評価等調査特別委員会での意見

町議会では新築家屋等の一部が評価されず未課税となっていたことを受け、平成25年12月10日に未評価等調査特別委員会を設置しました。これまで4回にわたり開催され町の姿勢を問う厳しい意見が相次ぎました。これまでの主な質問・答弁をご紹介します。

問 今までは建築確認書が出されたものと出されていないものがあつたようだが、どのようにチェックして把握してきたのか。また、指導は行っていないのか。

答 これまでは指導が足りなかったということになるかと思われる。建物を建てたときには建築確認は当然必要であり、これまでやってこなかったというのが今回の大きな原因だと思つているので、今後改めて実施してまいりたい。

問 平成19年度から評価漏れが増加している。担当職員の意識の変化とも思われるが、課長はどのように判断されているか。

答 課内での体制等とは思うが、やはり担当者のやる気とでも言うべき部分が欠落していたのかと思われる。また、推測にはなるが、課内での前任者からの引き継ぎや、それをサポートするグループ内の体制等も不足していたのではと感じている。

問 定数削減により職員間でのチェック機能が働かなくなったり、負担が重くなったりということも一つの要因なのではないか。

答 平成18年度にグループ制度を導入した。今後は検証を進めながらこの制度のメリット、デメリットについてもう一度

チェックをし、より効率的、効果的な制度となるような取り組みも検討する必要があると感じている。

問 11月27日に再発防止検討会議の答申が出され、活動が終了している。

解決策をまとめるのが検討会議の役割だと認識していたが、今後の再発防止計画も第三者の声を聞きながら策定すべきではないか。

答 第三者を含めた再発防止検討会議には事務局から説明し、それを踏まえての答申をいただいたものと考えている。今後は答申に沿って進め、必要であれば改めて検討会議等を招聘しながら検討してまいりたい。

町議会を傍聴してみませんか

皆様の生活に直結した重要な問題が審議されている町議会は、どなたでも傍聴することができます。町政への知識を深め身近に感じるためにも、ぜひ町議会の傍聴にお越しください。

定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回開催されます。詳細の日程は、議会が始まる約1週間前に議会運営委員会で決定されますので、町防災無線や町のホームページでお知らせしています。

議長交際費を公開

(平成26年1月～3月)

議長交際費は、議長が議会の対外的な活動をするために要する経費です。

各団体の総会や式典の会費などが主なものです。

詳しい内容は、町ホームページに記載しています。

- お祝い (会費含む)
14件 54,000円
- 弔事 2件 10,000円

町議会の動き

30日	軽米町消防団百年史発行祝賀会
24日	小中学校教職員離任式・送別会
23日	第27回町議会臨時会
22日	笹渡小中学校閉校式・思い出を語る会
21日	晴山中学校閉校式・思い出を語る会
20日	小軽米中学校閉校式・思い出を語る会
19日	軽米幼稚園・小軽米保育園卒園式
18日	軽米保育園卒園式
12日	小中学校卒業式(軽米中・笹渡小中・小軽米中・晴山中)
1日	小中学校卒業式(軽米小・小軽米小・晴山小)
3月	県立軽米高等学校卒業式
27日	第26回町議会定例会【3月11日まで】
26日	岩手北部広域環境組合議会定例会及び全員協議会(二戸市)
25日	未評価等調査特別委員会
25日	全員協議会
24日	二戸地区広域行政事務組合議会定例会(二戸市)
21日	議会運営委員会
20日	未評価等調査特別委員会幹事会
17日	未評価等調査特別委員会
14日	岩手県町村議会議長会定期総会(盛岡市)
11日	県北地区選出県議会議員との懇談会【12日まで】(盛岡市)
8日	在八郷和会新年会(八戸市)
7日	学校統合による「空き」活用と地域づくり研修会
5日	未評価等調査特別委員会幹事会
3日	全員協議会
2月	未評価等調査特別委員会
31日	岩手県町村議会議長会定例理事会【2月1日まで】(栗石町)
23日	情報文化研究会(盛岡市)
17日	未評価等調査特別委員会幹事会
11日	軽米小学校新校舎落成式
10日	未評価等調査特別委員会
6日	新春まちづくり交賀会
3日	軽米町消防団出初め式
1月	軽米町消防団出初め式

未来に残したい軽米の風景⑧



まちかど煉瓦館（元屋町）

醤油工場跡を改装し、平成13年にオープンしました。日本中に数多く存在するレンガ建造物は、明治・大正に建てられたものがほとんどですが、本町のものは昭和に入ってから建てられ、地元で焼かれたレンガが使われているなど、全国的にも珍しいものです。

皆さんの「未来に残したい軽米の風景」を募集しています

写真か画像データと、住所、氏名、電話番号、写真の場所、お薦めの理由（60字程度）を議会事務局までお送りください。

編集後記

3月定例会、この時期になりますと例年思いう出されるのは3・11東日本大震災。当時3階会議室において審査特別委員会が開会され議案の審議中でありました。突然、下から突き上げるような激しい揺れに思わず休会を宣言した、あの時のことが今でも思い出されます。

行った経緯もありますが見落としている部分も多々あると思いますので、生活や工事に起因することなどお気づきの点がございましたら、皆さんの声を議会までお寄せください。

議会報編集委員会
委員 本田 秀一

議会報編集委員会

委員長 松浦 満雄
副委員長 茶屋 隆
委員 館坂 久人
山本 幸男
本田 秀一
中村 光夫